



2026年2月10日

各位

会社名 応用技術株式会社  
代表者名 代表取締役社長 船橋俊郎  
(コード：4356、東証スタンダード)  
問合せ先 執行役員管理部長 浅野伸浩  
TEL. 06-6373-0440 (代表)

## 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応に関するお知らせ

当社は、2026年2月10日開催の取締役会において、以下のとおり、自社の資本コストや資本収益性、市場評価について現状を分析し、今後の取り組みについて決議しましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 現状分析

当社の2025年12月期におけるROE（自己資本当期利益率）は15.6%、ROIC（投下資本利益率）は14.2%となり、いずれの指標もおおむね10%台半ばから後半で推移しております。当社の株主資本コストは6～7%程度と推計しており、現状、各指標は安定的に資本コストを上回る水準を維持していると認識しております。

これは、ソリューションサービス事業およびエンジニアリングサービス事業の両セグメントにおいて、建設業・製造業のIT投資促進や環境解析分野の需要を的確に捉え、それぞれの強みを活かした高付加価値化戦略が浸透しているためと考えております。

また、2025年12月期末時点のPBR（株価純資産倍率）は1.69倍と、継続して1倍を上回る水準を維持しており、株主・投資家の皆様から一定の評価を得ていると考えております。

	2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期	2025年12月期
売上高（百万円）	6,447	7,075	7,419	7,837	7,454
営業利益（百万円）	908	956	978	937	1,199
売上高営業利益率（%）	14.1	13.5	13.2	12.0	16.1
経常利益（百万円）	1,022	1,028	1,048	999	1,278
当期純利益（百万円）	711	736	716	725	914
ROE（%）	21.9	18.4	15.3	13.9	15.6
ROIC（%）	19.4	16.6	14.5	12.4	14.2
PBR（倍）	3.88	2.61	1.84	1.46	1.69
配当性向（%）	16.1	23.3	23.9	23.6	25.0

## 2. 今後の取り組み

### (1) 中期経営計画の着実な遂行と収益基盤の強化

2024年2月に公表いたしました中期経営計画「OGI GrowUp 2028」に基づき、2028年12月期において売上高100億円、営業利益15億円、経常利益15.1億円の達成をめざしております。

本計画では、「既存事業の強化」「事業領域の拡大」「人材開発」を成長の柱に据えております。中長期的には、強固な組織基盤の構築を推進し、当社の強みである BIM/CIM 領域や企業の顧客接点（営業、アフターサービス）を支援するソリューションのエコシステム化ならびに海外のスタートアップとの連携により、製造・建設・環境分野での SaaS 展開を推進することで、高水準な収益力を維持し、資本コストを上回る ROE・ROI C の安定的な確保に努めてまいります。

### (2) 株主還元の拡充

2026年1月28日に公表いたしました「通期業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」の記載にありますように、2025年12月期の期末配当は、1株当たり40円（配当性向25%）と決議いたしました。

当社は、株主に対する利益還元を重要な経営課題の一つであると認識しており、企業体質の強化、企業価値の継続的な拡大と安定配当を基本に据えながら、「成長に必要な戦略的支出」と「財務の安定性」のバランスを考慮しつつ配当を実施し、長期的には配当性向30%をめざしてまいります。

### (3) 市場との対話（IR活動）の深化

市場との対話を深化させるため、財務情報に加えて、当社の競争力の源泉である技術レポートやサステナビリティ等の非財務情報の積極的な開示・発信を行い、市場認識の深化と企業認知度の向上に努めます。

また、機関投資家および個人投資家の皆様との双方向の対話をより一層強化し、対話を通じていただいたフィードバックを経営に反映させることで、市場評価の向上に邁進してまいります。

以上